

校訓『**創造**』 教育目標『**自律と貢献**』～「**本気・感動・探究・継続**」～

3者懇談にお越し下さりありがとうございました

保護者の皆様には、平日の中で日程調整をしていただき、ありがとうございました。中学校卒業後の、将来に向けて、各学年の段階により、生徒は今の自分を見つめ、保護者の方と学校の3者で話すことにより、自分の進路について、より深く考えることにつながればと思います。

通知表の評定も大切ですが、必要なことは、今の自分から、これからより良くしていくための行動を起こすきっかけをつくることです。そのためには、自分の中に、目標を設定することが大切です。

目標は自分だけで思いつかないことや、決まらないことは、よくあることですが、何もしないと、時間のみが経過してしまいます。

懇談後は、「なりたい私」について、自分なりに考えてみることで、保護者の方は、一緒に考えて子どもを認め、尊重していただくことで、子どもの主体性が生まれてくるようになればと思います。

学校では、子どもの良さを見つけ、「認める」「探る」「繋ぐ」を合言葉とし、より確かな目標設定ができ、学習や生活に意欲が出てくることに力を入れていきたいと思っています。

保護者の皆様には、引き続き、ご理解とご協力をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

3学年グループ面談「なりたい私」について聞きました

校長室において、班ごとにグループ面談を行いました。内容は次の3つです。

- ①私は将来、〇〇になりたいです。
- ②その理由は、〇〇だからです。
- ③そのために私は、〇〇に取り組んでいます。

生徒が、話した後に、私から質問をしました。また、自分の考えを、相手に伝えてみて、自分がどう感じたかを聞きました。

生徒からは、自分の中で将来のことを深く考えている様子が伝わってきます。なりたい自分を描きながら、具体的なめざす職業等について、明確に話せる生徒が増えてきました。

生徒たちは、人を助けたり笑顔にしたりすることができる仕事（医療系や美容系）や家庭生活を豊かにする物づくりの仕事など様々なジャンルや職業について、夢を語ってくれました。堂々と語る生徒の姿に接し、頼もしさを感じています。

生徒同士の考えを改めて聞き合い、友人のいつもとは違った一面を見て、自分も頑張ろうと思ったと話してくれた生徒もいました。

本年度から新たに開始される、公立高等学校入試選抜制度に対応した準備を進めていく中でめざすところは、3学年全員が、「なりたい私」を意識し、自分の希望する進路を決め、そこに向けて準備を整え、進路が決定することです。

そのために、日々の授業内容を充実させ、各教科の実力をつけていくことや、仲間とともに高め合えるような、学年集団となるよう、可能な活動を仕組んでいきたいと思っています。

1 学期終業式の式辞を掲載します。

校舎1階2階の踊り場にある掲示板に、1年から3年生徒それぞれの「なりたい私」を描いた、丸い形の切り抜き掲示があります。

先日、皆さんが自分で考えて、イラスト等も添えながら、書いてくれたものです。私は、ひとつひとつ内容を確認してみました。一人一人の個性がキラリと輝くもので、これはどの生徒のものなのかと、想像しながら見ました。この他に道德の授業で学んだ、皆さんの考え方や気持ちが、数多く掲示されています。読んでいて、とても関心させられる内容に、生徒の皆さんの可能性を感じています。

さて、はじめに、生徒の皆さんにひとつ聞いてみます。頭の中で、自分に答えてみて下さい。質問します。「この1学期で、これまで出来ていなかったこと、していなかったことが、出来るようになった、するようになったことは何ですか」

小学校から入学した1年生、進級した2・3年生にとって、どんなことに成長を感じた1学期だったでしょうか。

私は1学期の始業式で、次の言葉を皆さんに話しました。それは、学校が楽しくなるたったひとつのこと、「自分がされていやなことは人にはしない」別の見方考え方では「人が喜んでくれることをすれば、人も嬉しいし、自分も幸せになれる」「生徒も先生も全員が守れば、学校が楽しくなるはずです」と話しました。

これは、本校の目標である、「自律と貢献」本気、感動、探究、継続の基盤となる、大切な行動の考え方です。これからも、相手意識をもって、自分なりに継続してみてください。

私が、この1学期、生徒の皆さんの良さを感じたことを2つ紹介します。

何とんでも、6月4日の体育祭でのパフォーマンスの全てです。3年生の的確で優しく、そして情熱を感じるリードのもと、勝っても負けても、お互いを拍手で讃え、楽しむ雰囲気、競技や演技をする皆さんの姿です。八次中の良き伝統をまた、積み重ねてくれました。

もうひとつ、校内でのさわやかな挨拶が交わされる学校になっているということです。中には立ち止まって挨拶ができる生徒もあります。すれ違う時に、軽く会釈をしてくれたり、後ろからも、こんにちとはと、声をかけてくれたりと、校内を歩く度に、挨拶のシャワーを浴びるようで、とても爽やかな気持ちになります。

なぜ、挨拶の多い生徒の姿になってきているのでしょうか？考えてみて下さい。

それは、皆さんが、相手意識を持ち、挨拶という形で行動に移しているからです。これからも、学校の中に加えて、地域での登下校や、家族にも、自分から挨拶をしていきましょう。

挨拶を自分からすると、主体性が生まれます。挨拶をすると、人も嬉しいし、自分も幸せになります。

明日から、夏休みに入ります。1年生は、1学期の教科の復習をして、各教科の基礎を確実にしていきましょう。2年生は、職場体験学習で、体験を通してなりたい自分探しに役立てて下さい。3年生は、高等学校等のオープン・スクールへの参加により、希望する進路の明確化に役立てて下さい。特に2・3年生は、八次中学校生徒という看板を背負って、校外に出るのだという自覚をお願いします。

夏休みは、自分なりの計画を立て、ひとつひとつ実行に移していきましょう。特に、怪我や事故には十分注意し、元気に過ごせるようにして下さい。

2学期の開始に、元気な姿でまた会いましょう。

八次中学校 校長 藤田 正樹